

# 6 市民協働、行財政運営 市民と共に次世代を築く「自立したまち」



## ■ 記念式典の開催

### 市制70周年記念事業

**281万円** / 秘書課

令和6年6月1日に市制施行70周年の節目を迎えるにあたり、記念式典を開催します。



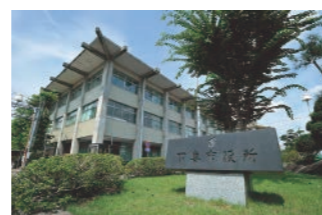
新規

## ■ 公共施設マネジメントの推進

### 旧本庁舎解体工事

**2億5,410万円** / 資産経営課

新庁舎の竣工に伴い、旧本庁舎の解体工事を行います。



新規

## ■ マイナンバー制度の利活用

### 証明書コンビニ交付事業

**2,321万円** / 市民課

マイナンバーカードを利用して、コンビニ等に設置してあるキオスク端末及び庁舎・千代川公民館設置のマルチコピー機から住民票の写し等の証明書に加え、新たに戸籍証明書（戸籍謄抄本及び戸籍附票謄抄本）の交付を行います。



拡充

## ■ デジタル化による市民の利便性の向上

### スマホ市役所事業

**284万円** / DX推進課

市公式LINEを使いオンラインで行政手続を行うことができるサービス（スマホ市役所）を提供します。



市LINE公式アカウントID  
shimotsu\_ibaraki  
※ID検索で友達登録をする場合は、IDの先頭に@を入力してください。



継続

## ■ 効率的で公正な入札・契約事務の執行

### 入札参加資格 電子申請システム導入事業

**243万円** / 財政課

県の電子申請システムに参加することで、市への入札参加資格申請を省略することができ、入札参加事業者の利便性と事務の効率化を図ります。

新規

## ■ デジタル化による事業の効率化の推進

### 生成AI導入事業

**418万円** / DX推進課

生成AIを導入し、職員の会議資料や文章作成等にかかる負担の軽減及び業務効率化を図ります。また、イベントや政策の企画立案に活用することにより、市民サービスの向上を図ります。

新規

# 5 都市基盤 自然と都市が共生する「快適なまち」



## ■ 公共交通網の整備・拡充

### 地域公共交通実証実験 タクシー利用助成事業

**366万円** / 企画課

公共交通空白地域に適した施策の検証を行うため、高齢者福祉タクシー利用助成事業、障害者福祉タクシー利用助成事業の交付対象者に対して、長距離専用タクシー助成券の交付を実施します。



継続

## ■ 市道の整備推進

### 路面再生工事

**2億3,000万円** / 建設課

市道の維持補修を行い、道路の安全性の向上を図ります。

路面再生工事とは…  
舗装の破損（ひび割れやわだち等）が進み、早急に補修が必要とされる舗装面を削って、安全に通ることができるようにする工事です。



継続

## ■ 公共交通網の整備・拡充

### コミュニティバス運行事業

**1,498万円** / 企画課

下妻駅を中心に東西をつなぐコミュニティバスの運行により公共交通手段を拡充し、市民の利便性向上と中心市街地の活性化を図ります。



継続

## ■ 市道の整備推進

### 道路整備事業（南部環状線）

**1億1,400万円** / 建設課

国道294号から市道大貝・下川原線に連絡する総延長3,800mの道路を整備します。

◎総延長 L = 3,800m 幅員 W=14.0m(両側歩道)

継続

## ■ 公共交通網の整備・拡充

### 広域連携バス運行事業

**2,885万円** / 企画課

下妻駅から川島駅をつなぐ筑西下妻広域連携バスを運行し、広域交通網の形成による沿線住民、学生の通学などの利用を促進します。運行経費は、筑西市と距離按分することにより、効率的・効果的な運行を図ります。



継続

## ■ 市街地の活性化

### 砂沼戦略推進事業

**665万円** / 都市整備課

地域資源である「砂沼」や公共空間等を活用し、民間主導の公民連携による新しい下妻ライフの創造や地域経済循環を促進するまちづくりを推進します。

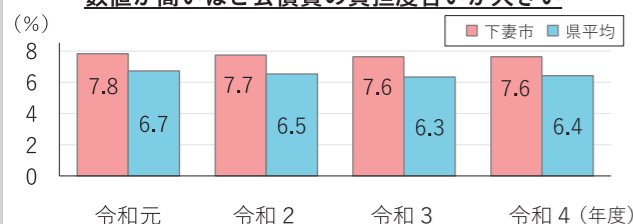


継続

## 下妻市の財政状況 ②

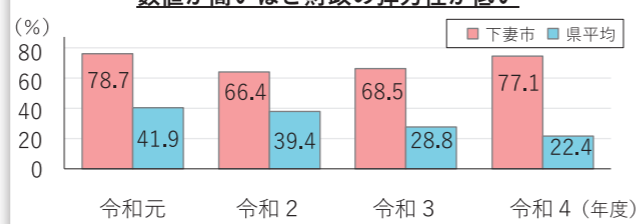
### 実質公債費比率

借金返済のためのお金が  
通常見込まれる収入に占める割合  
数値が高いほど公債費の負担度合いが大きい



### 将来負担比率

借金の残高など、将来負担しなければならないお金が  
通常見込まれる収入に占める割合  
数値が高いほど財政の弾力性が低い



## 下妻市の財政状況 ①

### 財政力指数

標準的な行政サービスをするためのお金を  
自らまかなえている割合  
数値が高いほど良い！



### 経常収支比率

毎年必要になるお金が、市税、地方交付税などの  
経常的に入るお金のどのくらいを占めているかの割合  
数値が高いほど自由に使えるお金が少ない

